

【別添】

井戸能力パイロット調査の概要

(1) 調査地点

【岩手】北部と南部で最大放流規模だった以下の被災ふ化場を選定

- ・下安家（しもあつか）
- ・気仙（けせん）

【宮城】被災前に揚水量の多かった以下のふ化場を選定

- ・本吉（もとよし）
- ・南三陸町（みなみさんりくちょう）第二

(2) 調査結果

【岩手】6月20日～27日に調査実施

- ・下安家、気仙ふ化場ともに、揚水量は被災前の水準に回復可能。塩分も問題なし。

【宮城】6月28日～7月4日に調査実施

- ・本吉ふ化場：近接する上水道井戸との干渉により調査中止。
- ・南三陸町第二ふ化場：揚水量は被災前の水準に回復可能。
- ・両ふ化場とも塩分混入が確認され、ふ化放流事業への影響に多少懸念があることから、少なくとも24時間以上の連続揚水調査が必要。

(3) 結果報告

【岩手】岩手県及び岩手県増協に報告書を提出。岩手県増協及び岩手県水産技術センター等が別途行った井戸調査結果も踏まえ、施設の復旧整備を進めるとのこと。

【宮城】宮城県に報告書を提出。地盤沈下による影響が懸念されることから、連続揚水調査を含めた井戸調査の実施を提案。調査実施に向け対応すること。



水質調査(宮城県気仙沼市の本吉ふ化場)



揚水量調査(岩手県野田村の下安家ふ化場)